

京都クリエイティブ・アッサンブラージュ

文化の視点からイノベーションを起こすための方法論を開発し展開している。

3大学のアッサンブラージュ

- 京都大学
- 京都市立芸術大学
- 京都工芸繊維大学

文部科学省「価値創造人材育成拠点形成事業」2021-2025

<https://assemblage.kyoto>



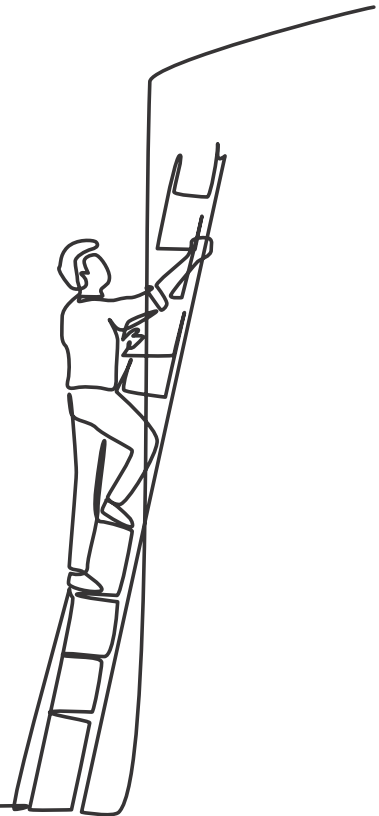
もっとも重要なこと

イノベーションとは意味のシステムを解体すること。

- 消費者の潜在ニーズを満たすことではない。
- 意味のシステムから排除されている無-意味の「敗者」を救済すること。

人々の自己表現となるとき社会が熱狂する。

- 人々の抱える敗者が救済される。
- 表現自体の敗者も救済される。
- 時代の象徴となり歴史が切り開かれる。



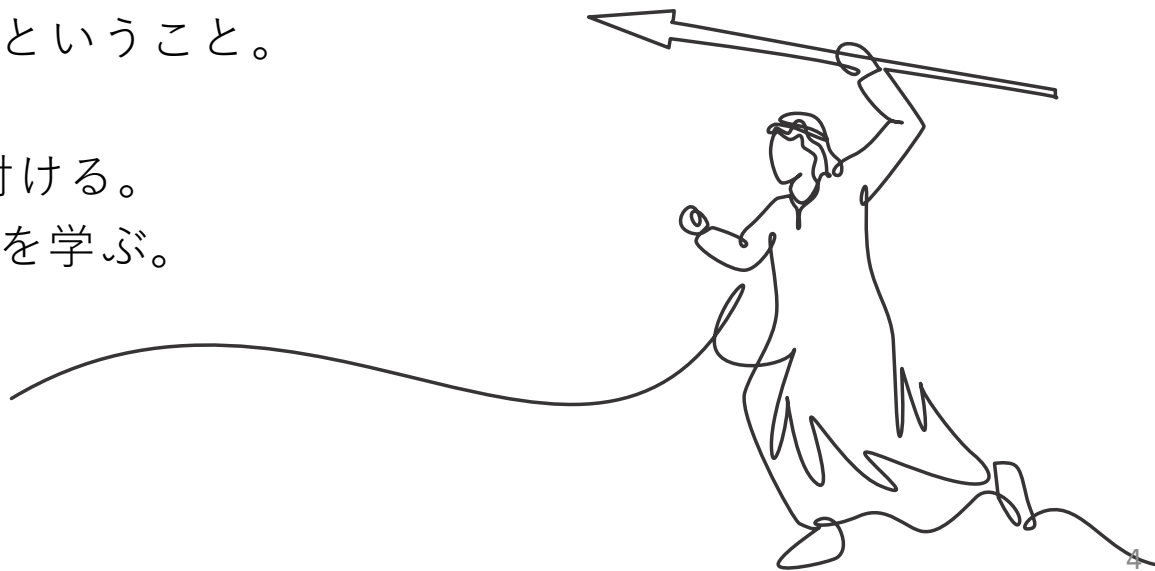
そのために

意味のシステムをよく見る。

- 意味のシステムのいかがわしさを読み解けるか？
- 敗者を抑圧し見えなくするといういかがわしさ。
- 意味のシステムを取っ払うということは、ワケわからないことに向かうということ。

人文社会学的な思考を身に付ける。

- 人文社会学の概念や方法を学ぶ。
- 無-意味を理解する。



どうするのか？

「無-意味」を、感じ取り、救済し、表現する。

1 社会をよく見る – 無-意味を感じ取る

現在の意味のシステムから排除されている無-意味の敗者を感じ取る。

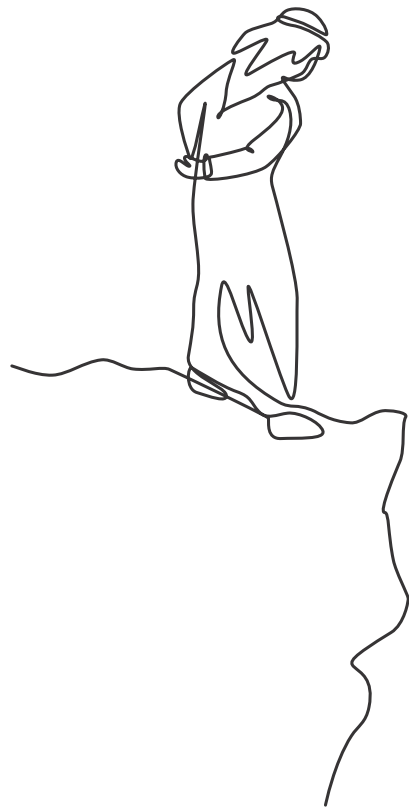
- 意味が与えられないもの。

社会がどのような敗者に引き寄せられているのかを感じ取る。

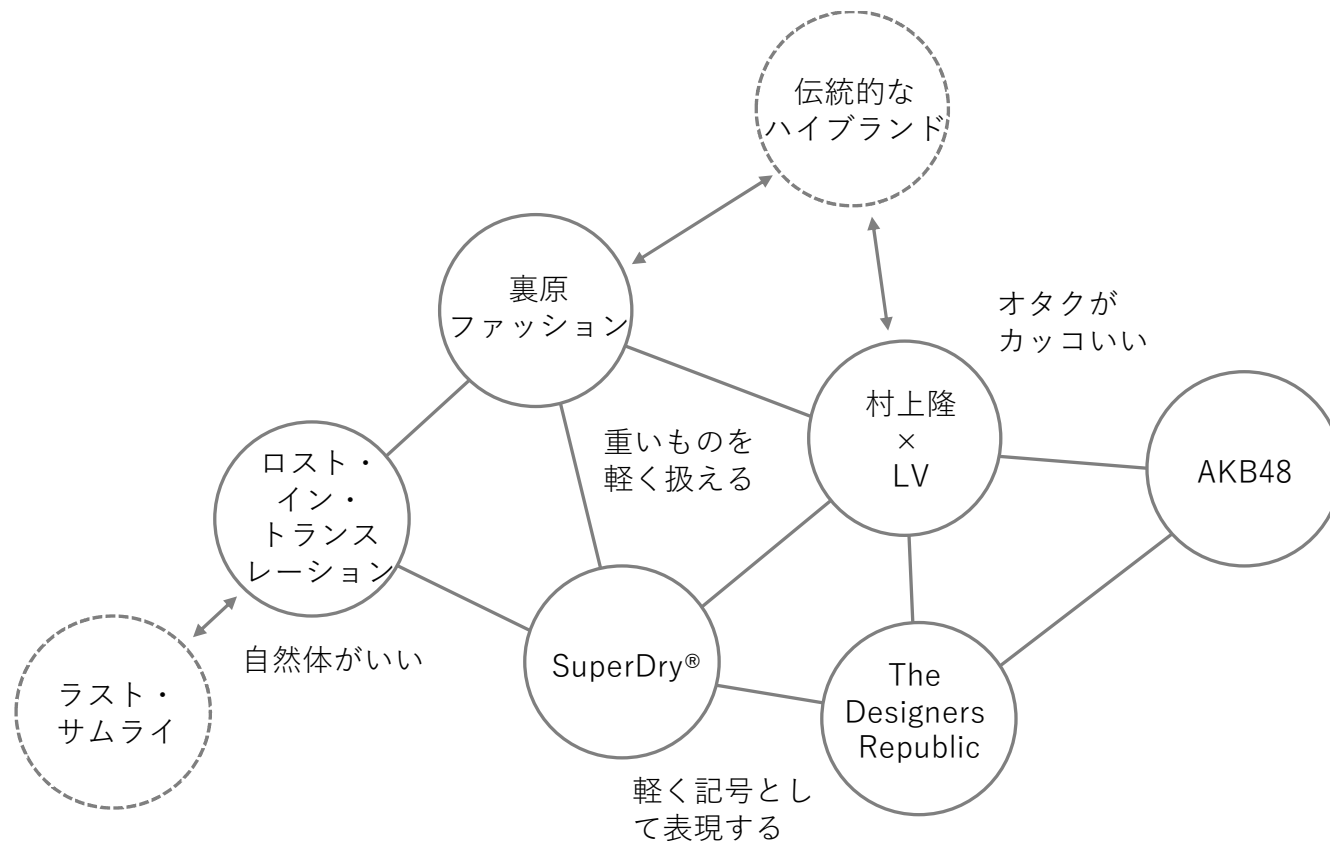
- あらゆる事象を社会の中に位置付ける。

創造性とはよく見ること。

- 見えないように排除されている、無-意味を捉える。



イデオロギーの星座



transvaluation

2 価値転換 – 無-意味を救済する

価値 = 何がよく、何がわるいのか。

価値を示すために、価値基準が構築される。

イノベーションは価値基準自体の転換である。

– 既存の価値基準の上での価値の増加ではない。

「...なのによい」から「...だからよい」へ。

– 新しい価値基準を提案することで、それ自体で本来からよいものであることを示す。



Friedrich Nietzsche

価値転換

「ベーシックで特徴がない」なのに「低価格で高品質」。

- 必ずしも他の人に見せたいブランドではなかった。



「ベーシックで特徴がない」だから「よい」。

- むしろ、その方が文化の最先端となる。

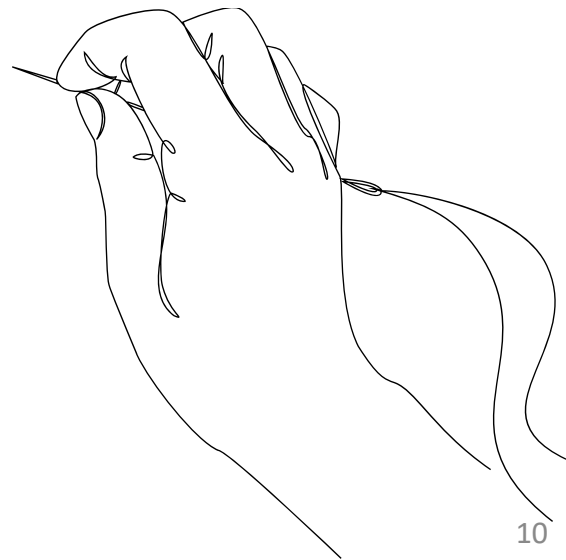
3 象徴をつくる – 無-意味を表現する

意味のシステムの解体の動きを表現する。

- つまり無-意味を表現する。
- 新しい意味のシステムを打ち立てるのではない。
- いさぎよくシンプルに完結する。

無-意味を表現することで象徴となる。

- 意味を詰め込んでも象徴にはならない。
- 意味でがんじ絡めにするとむしろ身動きが取れなくなりデザインが狭くなる。
- 遡及的に全てが意味を持つようになる。





GLP ALFALINK相模原

市民も集う共用棟を敷地の真ん中に配置している。

共用棟の下をトラックが通る。生垣のみで分離。

年間300件ほどの様々なイベントが実施され
多くの市民が集っている。

入居企業同士でのやりとりを通して新しい
ビジネスが生まれている。

高校生が勉強するために来る施設。

資本主義の暗部

物流施設は地元から喜ばれない。来て欲しくない。

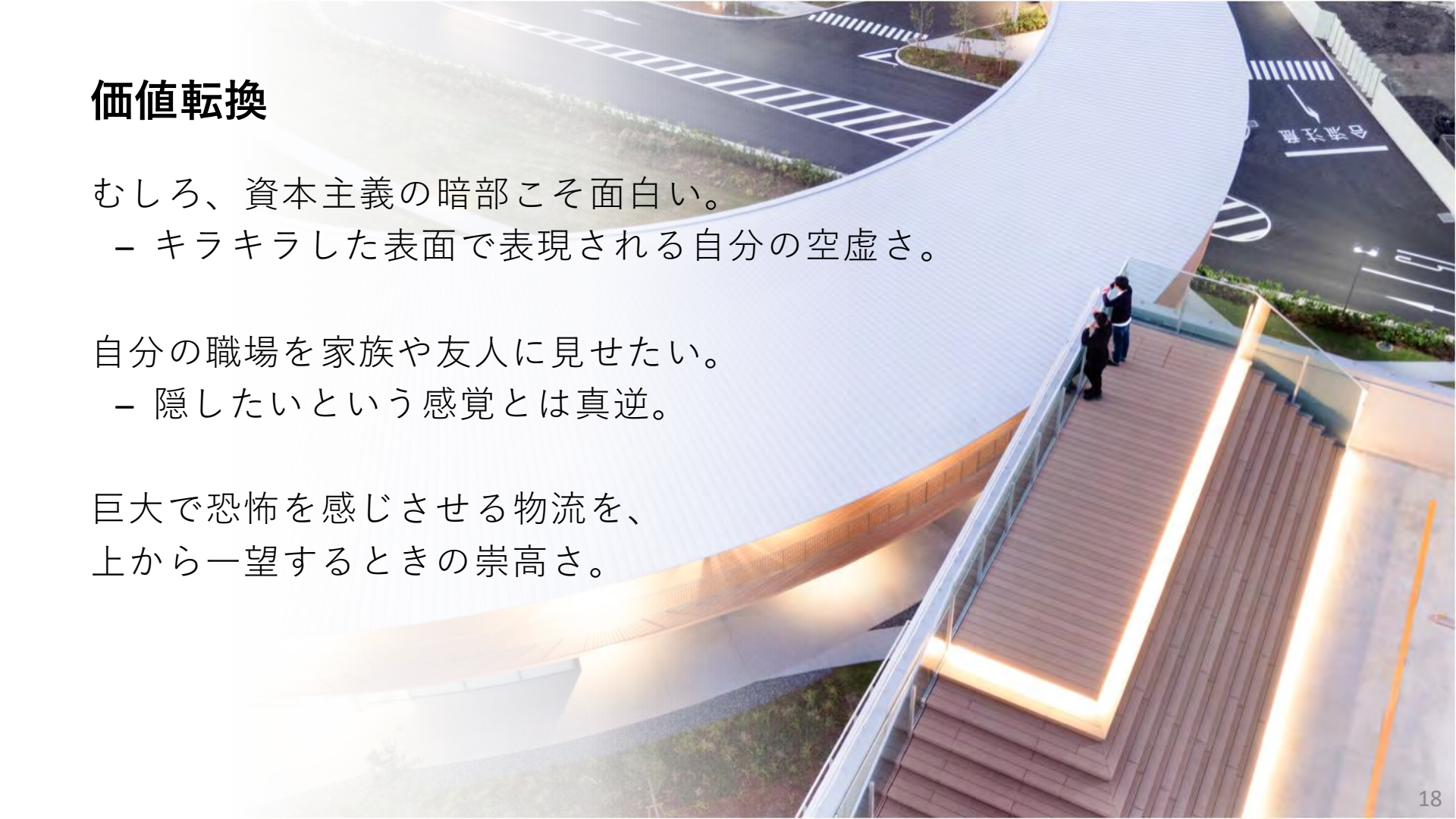
- 閉鎖的、地元にとってはメリットがあまりない。
- トラックが危険、騒い、渋滞する。
- 価値を生み出さないコストセンター。

キラキラした資本主義の店舗やウェブストアの裏側にある巨大な資本主義のシステム。

この暗部を見たくないと同時に、見てみたい。

- いかかわしい排除。

価値転換



むしろ、資本主義の暗部こそ面白い。

- キラキラした表面で表現される自分の空虚さ。

自分の職場を家族や友人に見せたい。

- 隠したいという感覚とは真逆。

巨大で恐怖を感じさせる物流を、
上から一望するときの崇高さ。

時代の読み解き

2000年「これからはデザイナーの時代だ」

▶ デザイン思考

2003年「病院や幼稚園をデザインしたい」

→ ふじようちえん

千里リハビリテーション病院

▶ サービスデザイン

2016年 物流がおもしろい。

→ NASTA宅配ボックス

▶ 社会課題のためのデザイン

2018年「物流がやりたい」

→ ALFALINK相模原

社会課題へのアプローチ

社会課題へのアプローチ

排除されてきた人々を包摂する。参加してもらう。

排除されてきた自然、ローカル、地域を取り戻す。

このようなアプローチに感じられる違和感は何か？

社会課題へのアプローチの課題

排除されたものを、自分たちのレベルに引き上げる？

排除されたものを、神聖にする？

それをしているあなたは誰か？

- 自分を上に位置付け、その上下関係を解消している。

自分の位置を条件づけている意味のシステム自体は問題とされない。

- 逆により強固にしてしまう。



“ 不平等からスタートした人は、ゴール地点で必ず不平等と再会する。

排除されたものを持ち上げる身振りは、不平等からスタートしている。

それでは不平等を消去することはできない。

ランシエール, J. (2019) 『哲学者とその貧者たち』 (松葉ほか訳) 航思社. p. 26



Jacques Rancière

平等とは

平等とは機会や権利ではない。

そのような機会や権利に根拠がないことが平等である。

平等とは「サイコロのひと振り」、つまり単なる偶然である。

誰であっても、その能力を肯定すること。

「下」のものを持ち上げて、よく見せるのではない。

ランシーエル, J. (2008) 『民主主義への憎悪』 (松葉訳) インスクリプト. p. 57.



Jacques Rancière

あるべきアプローチ

意味のシステム自体を解体するデザイン。

- 位置を高めるのではなく、
序列自体を解体するデザイン。

根拠がないことに忠実なデザイン。

上下のわからないフラットなデザイン。

ワケわからない状態を生み出す美学。

そのようなデザインは可能か？



サイコロのひと振りを肯定すること

無根拠に向き合い、新しい世界を意志するニーチェ。

神は死んだ—世界に根拠がないことに向き合う。

– すぐに別の神を想定して逃げない。

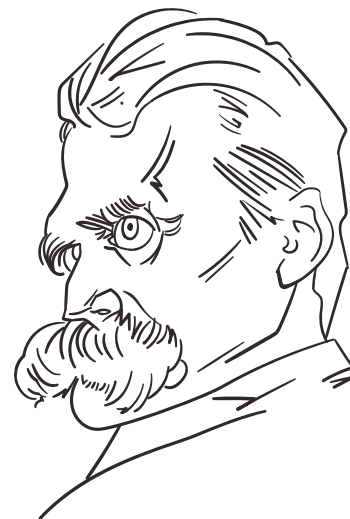
運命を前にあきらめず新しい世界を意志する。

– あきらめる隠遁者にはならない。

これを実現するデザインとはどのようなものか？

ドゥルーズ, G. (2007) 『差異と反復』 (財津訳) 河出書房新社.

ドゥルーズ, G. (2007) 『意味の論理学』 (小泉訳) 河出書房新社.



Friedrich Nietzsche

意味が差し引かれていくデザイン

コンセプトは明示されていない—行動を規定しない。

フラットな表現—持ち上げない、神聖化しない。

- あくまで物流施設であることを感じさせる。

意味が規定されていない空間—何もないように見える。

- 厚みのない屋根、広く空いた中央、正面のないリング。

しかし、意味が差し引かれるからこそ、シンプルでわかりやすいデザインともなる。

intensity

純粋な差異をデザインする

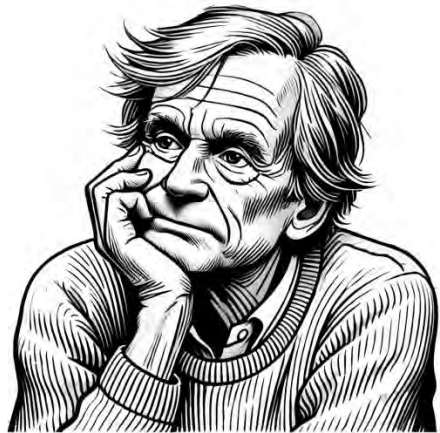
全てに根拠がなくフラットであるなら、物流倉庫は純粋にそれ自体でどういうものか？

同一性=identity

- 意味のシステムにおける正しい固定化された概念からの差異をデザインするのではない。

それ自体を純粋によいものとしてデザインしなければならない。

- 物流倉庫を救済するために、物流倉庫を本来それではない「よい」ものに仕立て上げては意味がない。



Gilles Deleuze

ドゥルーズ, G. (2007) 『差異と反復』 (財津訳)河出書房新社.

意味が発生する空虚な場をデザインする

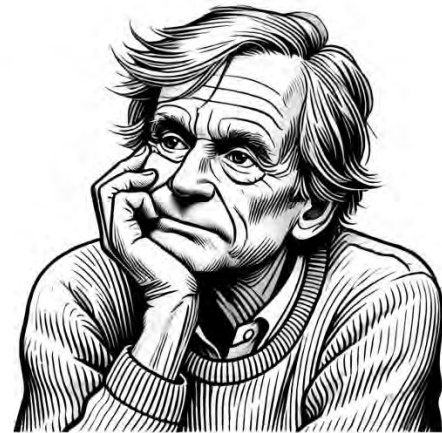
意味ではなく、意味の発生を場をデザインする。

- 理想的な行動を規定する意味を込めてはいけない。
不平等をより強化してしまう。

event

内容を持たず、純粹な出来事としての意味の発生。

- 行為が固定されるのではなく、入った瞬間に自分が
変化するような空間。
- 自分は「…である」と固定化する名詞や形容詞では
なく、「…になる」と感じられる動詞の空間。



Gilles Deleuze

ドゥルーズ, G. (2007) 『意味の論理学』 (小泉訳)河出書房新社.

無-意味から意味を生み出す

意味を差し引き、無-意味(空虚な場、シンギュラリティ)をデザインすることで、新しい意味が生まれる。

- 意味が脱臼されるから、新しい意味が発生する。
- 潜在的に様々な意味がうごめき、発散する異質な行為が共鳴する。
- 「物流施設」という考え方自体が自由に変化していく。

サイコロのひと振りとは、この無-意味をデザインすること。



ドゥルーズ, G. (2007) 『意味の論理学』 (小泉訳)河出書房新社.

新しい意味が生まれる

結果として、そのままの自分が肯定される。

- 自分ではない人になるのではない。

従業員も地元の夏祭りも自然に溶け込む。

入居する競合企業が協業し、また新しい事業も生まれる。

「地域に愛されるALFALINK」(本村賢太郎市長)。

社会課題に向けて

既存の序列を温存する保守にはならない。

- たとえ、排除されたものを神聖化しても。

あきらめてローカルに退避しない。

- たとえ、それが美しくても。

意味を否定し一切の序列を受け入れないと同時に、
肯定的に新しい世界を表現すること。

- 不可能な瞬間を意志すること。

ジジェク, S. (2010) 『パララックス・ビュー』 (山本訳) 作品社.

おわりに

1. 無-意味を感じ取る
2. 無-意味を救済する
3. 無-意味を表現する

意味を込めないことで新しい意味を生み出す。
内容を差し引き、純粹な動きとなった空虚。

無根拠、無-意味、フラットに向き合う！

<https://assemblage.kyoto>



<https://yamauchi.net/h>